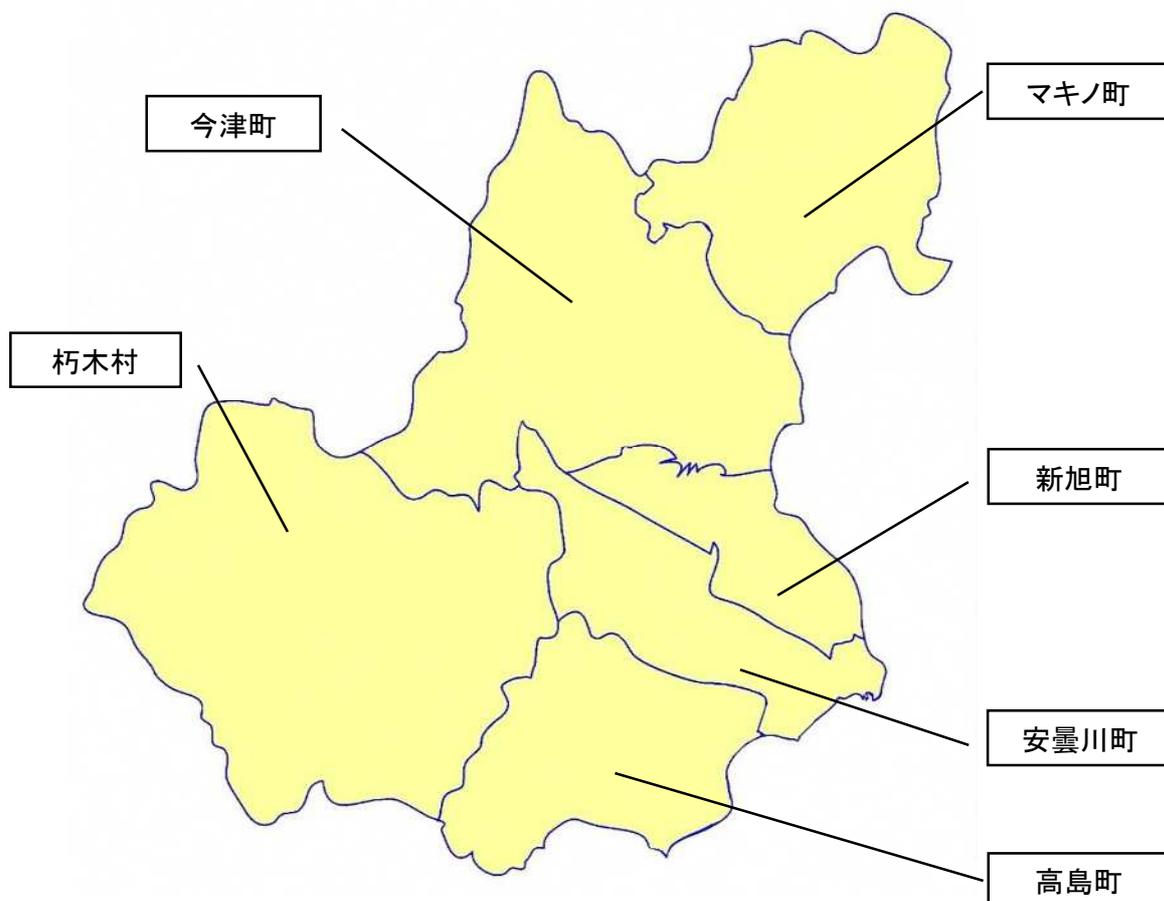


高島市の地位（滋賀県内比較）

	単位	滋賀県	高島市	滋賀県内 順位	調査年	資料出所
面積	km ²	4,017.38	693.05	1	R7	国土地理院
人口	人	1,413,610	46,377	12	R2	国勢調査
人口増加率（対前年）	%	0.05	△ 7.29	18	R2	国勢調査
人口密度	人/km ²	351.9	66.9	18	R2	国勢調査
世帯数	世帯	571,374	18,037	12	R2	国勢調査
出生児数	人	9,249	203	12	R5	人口動態調査
死亡者数	人	14,955	777	8	R5	人口動態調査
婚姻件数	件	5,230	143	12	R5	人口動態調査
離婚件数	件	1,943	46	14	R5	人口動態調査
就業人口（15歳以上）	人	732,254	23,563	12	R2	国勢調査
農業	人	16,871	1,329	6	R2	国勢調査
林業	人	494	59	4	R2	国勢調査
漁業	人	422	59	3	R2	国勢調査
鉱業，採石業，砂利採取業	人	169	5	9	R2	国勢調査
建設業	人	42,686	1,997	10	R2	国勢調査
製造業	人	198,475	4,891	13	R2	国勢調査
電気・ガス・熱供給・水道業	人	2,719	90	8	R2	国勢調査
情報通信業	人	9,833	134	13	R2	国勢調査
運輸業，郵便業	人	35,032	879	13	R2	国勢調査
卸売業，小売業	人	105,606	3,318	12	R2	国勢調査
金融業，保険業	人	14,115	318	12	R2	国勢調査
不動産業，物品賃貸業	人	10,749	200	12	R2	国勢調査
学術研究，専門・技術サービス業	人	22,934	418	13	R2	国勢調査
宿泊業，飲食サービス業	人	38,297	1,235	10	R2	国勢調査
生活関連サービス業，娯楽業	人	24,277	817	11	R2	国勢調査
教育，学習支援業	人	40,990	1,098	12	R2	国勢調査
医療，福祉	人	95,288	3,450	10	R2	国勢調査
複合サービス事業	人	5,631	385	8	R2	国勢調査
サービス業	人	43,318	1,302	12	R2	国勢調査
公務	人	24,348	1,579	7	R2	国勢調査
事業所数	事業所	54,878	2,519	10	R3	経済センサス - 活動調査
従業者数	人	671,105	20,727	12	R3	経済センサス - 活動調査
農家数	戸	21,971	1,931	5	2020	農林業センサス
自給的農家数	戸	8,164	600	6	2020	農林業センサス
販売農家数	戸	13,807	1,331	4	2020	農林業センサス
経営耕地面積	ha	42,787	3,996	4	2020	農林業センサス
田	ha	41,220	3,784	4	2020	農林業センサス
畑	ha	1,060	118	3	2020	農林業センサス
樹園地	ha	507	94	2	2020	農林業センサス
米作付面積	ha	28,300	2,730	3	R5	作物統計調査
米収穫量	t	142,600	13,500	3	R5	作物統計調査
森林面積	ha	201,428	36,979	2	R5	滋賀県森林・林業統計要覧
製造業事業所数	事業所	3,096	184	8	R3	経済センサス - 活動調査
製造業従業者数	人	166,309	3,982	15	R3	経済センサス - 活動調査
製造品出荷額等	万円	761,551,056	9,587,811	-	R3	経済センサス - 活動調査

※いずれも調査実施年の順位である。

市域の変遷（沿革）



高島市年表

西 暦	和 暦	事 項
	縄文時代早期	石器や土器、落とし穴を使って狩猟が行われる（鴨遺跡・日置前遺跡）
	縄文時代中期	石鍬、石斧などが使用される（弘川B遺跡・大供遺跡）
	縄文時代後・晩	長期間の定住生活を営むムラが成立する（北仰西海道遺跡・弘部野遺跡）
	縄文時代晩期後	高島市域に水稲栽培が伝わる（針江遺跡）
	弥生時代中期	玉造りや石製品作りが行われ墳丘墓が造られる（北仰西海道遺跡・弘川B遺跡） 高地性集落が出現する（熊野本遺跡） 渡来人との交流がうかがえる（南市東遺跡、鴨稻荷山古墳）
	古墳時代中期	小型の前方後円墳や大型円墳を中心とする古墳群が築かれる（田中王塚古墳・妙山古墳群・平ヶ崎王塚古墳群・熊野本古墳群・下平古墳）
	古墳時代後期	小型円墳が造られる（弘川友定遺跡）
5C末		継体天皇が高島郡三尾付近で誕生したという
6C前半		鴨稻荷山古墳が築造される
570	欽明天皇31年	「越の国」について高句麗使節が、「近江の北山」から船で琵琶湖を南下して山背の相楽館へ赴く
672	天武 1年	壬申の乱、大海人皇子軍が高島郡の三尾城（高島町三尾崎付近）を攻め、陥落させる
7C～9		日置前に官衙的機能をもつ建物が建てられる（日置前遺跡）
759	天平宝字3年	高島山から奈良東大寺の用材を伐り出す
764	天平宝字8年	恵美押勝（藤原仲麻呂）の乱、仲麻呂は勝野鬼江（乙女池）での戦いに敗れ、石村村主石楯に捕えられ斬首となる
766	天平神護2年	恵美押勝の乱で功績のあった藁園寺の檀越に物を賜う
833	天長 10年	高島郡が大嘗祭の悠紀国に選定される
9C後期		このころ、鴨に官衙が造られる（鴨遺跡）
985	永観 3年	高島郡が大嘗祭の悠紀国に選定される
1001	長保 3年	音羽が太田庄として白川喜多院寂楽寺の荘園となる
1068	治暦 4年	子田上庄と川上庄を平等院領とする太政官牒がだされる
1138	保延 4年	木津庄が山門領となる
1169	仁安 4年	延暦寺横川中堂再建に高島の木材が運ばれる
1184	元暦 1年	悠紀の殿舎などの用材を採る地に高島郡の2カ所が選定される
1203	建仁 3年	佐々木信綱が朽木庄を賜う
1471	文明 3年	蓮如が湖西を通り、福井県吉崎へ向かう
1505	永正 2年	高島玄蕃允が長法寺山に城を築く
1507	4年	京を脱した將軍足利善澄が朽木谷に逃れる
1528	享祿 1年	將軍足利義晴が朽木谷に滞在する
1538	天文 7年	高島河上七頭の衆と饗庭氏が海津の田屋城を攻める
1543	12年	朽木晴綱と田中頼綱が山木の伐採を巡って争いをおこす
1551	20年	將軍足利義晴が朽木谷に滞在する
1570	元亀 1年	織田信長が朝倉攻めのため九里半街道を通過して越前にむかう、途中中田の城に泊る
1571	2年	磯野員昌が新庄城主となる織田信長から高島郡を与えられる
1572	3年	織田信澄が高島郡北部の寺院等を焼き討ちする
1573	天正 1年	織田信長が大船で高島郡を攻撃する
1578	6年	織田信澄が大溝城を築き城主となる
1603	慶長 8年	豊臣秀頼が白鬚神社の社殿、末社を修造・整備する
1608	13年	中江藤樹が上小川で誕生する
1619	元和 5年	分部光信が大溝に入封し、大溝藩が成立する
1648	慶安 1年	中江藤樹、上小川に藤樹書院を開設する
1662	寛文 2年	大地震が起こり高島郡一帯に甚大な被害がでる
1807	文化 4年	高島郡が大洪水に襲われ、大溝山王谷・愛宕山間で山崩れがおこる
1829	文政 12年	大溝藩にお預けになっていた近藤重蔵が病没する
1831	天保 2年	野田村の敦賀藩代官所に高島郡敦賀藩領の農民が乱入する 藤本太郎兵衛らが瀬田川浚渫工事を完成させる
1859	安政 6年	高島郡内でコレラが流行する
1864	元治 1年	一橋慶喜、天狗党追討のため敦賀へ向かう途中今津・海津に宿泊する
1868	明治 1年	高島郡の神官が廃仏毀釈を行う
1869	2年	蒸気船一番丸が海津一大津間の運航を開始する
1871	4年	廃藩置県、市内の所属県は大津・膳所・大溝・豊橋・小浜・福知山・郡山・金沢・伯太・川越県となる 近江国内は大津県と長浜県に2分され、高島郡は長浜県に所属する
1873	6年	市内各地に小学校が設立される
1876	9年	敦賀郡・三方郡・遠敷郡・大飯郡が滋賀県に編入される
1879	12年	今津に高島郡役所がおかれる
1886	19年	饗庭野が陸軍演習地として買収される 最初の安曇川橋（木造）が建設される
1889	22年	町村制施行により海津・剣熊・西庄・百瀬・川上・今津・三谷・新儀・饗庭・広瀬・安曇・青柳・本庄・高島・大溝・水尾・朽木各村が誕生する

西 曆	和 曆	事 項
1898	明治 31年	高島郡農会が発足する
1902	35年	鴨稻荷山古墳が発見される
1902	35年	大溝村が町制施行
1906	39年	今津村が町制施行
1917	大正 6年	第三高等学校水上部の小口太郎が、今津の宿で琵琶湖周航の歌を披露する
1918	7年	高島郡連合青年団が発足する
1920	9年	滋賀県立今津中学校が開校する
1925	14年	萩の浜水泳場が開かれる
1927	昭和 2年	高島郡誌発行
1931	6年	江若鉄道浜大津－近江今津間全通
1933	8年	安曇川大橋竣工
1936	11年	大溝町立実科高等女学校が滋賀県立藤樹実科高等女学校となる
1940	15年	安曇村が町制施行
1941	16年	第四高等学校ボート部員 11名が萩の浜沖で遭難する
1942	17年	今津に県地方事務所が設置される
1943	18年	大溝町・高島村・水尾村が合併して高島町となる
1944	19年	市内小学校が大阪市の学童集団疎開を受け入れ
1947	22年	県立今津中学校が高島高等学校に改称
1951	26年	天皇陛下高島市へ巡幸
1954	29年	安曇町・広瀬村・青柳村・本庄村が合併して安曇川町となる。
1955	30年	海津村・剣熊村・西庄村・百瀬村が合併してマキノ町、川上村・今津町・三谷村が合併して今津町、新儀村・饗庭村が合併して新旭町が誕生する
1956	31年	志賀町大字鶴川が高島町に編入する
1959	34年	饗庭野で第2回日本ジャンボリーが開催される
1962	37年	箱館山スキー場営業開始
1965	40年	国境スキー場営業開始
1966	41年	県立高島高等学校安曇川分校開校
1967	42年	国鉄湖西線工事が着手される
1969	44年	江若鉄道廃線、最後のお別れ列車が走る、江若バス始発式
1974	49年	国鉄湖西線開通、各駅で開通祝賀行事が行われる
1981	56年	びわこ国体、今津町では剣道競技会・銃剣道競技会、安曇川町でウェイトリフティング、高島町・朽木村では山岳競技が行われる
1987	62年	ガリバー村が開村する
1988	63年	グリーンパーク「思い出の森」オープン 近江聖人中江藤樹記念館開館
1991	平成 3年	第1回西びわこペーロン大会が開催される マキノサニービーチオープン
1992	4年	高島郡森林組合が発足
1995	7年	「家族旅行村ピラデスト今津」がオープンする ピラデスト今津で第19回全国育樹祭式典が行われる くつき温泉「てんくう」がオープンする
1996	8年	びれっじー号館がオープンする
2001	13年	打下古墳石棺から5世紀中ごろの人骨が出土する
2002	14年	高島郡6町村合併検討協議会の初会合が開かれる 高島郡5町による法定の高島地域合併協議会が発足する
2003	15年	新旭で地雷をなくそう全国こどもサミットが開催される
2004	16年	マキノ町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町による合併調印式が行われる
2005	17年	1月 マキノ町・今津町・朽木村・安曇川町・高島町・新旭町5町1村が合併し、高島市が誕生する 5月 市内全域でチャレンジデーが開催される 9月 吹田市とフレンドシップ交流・災害応援協定が締結される 10月 ガリバーホールで第12回全国山城サミットが開催される 11月 高島市が景観法に基づく景観行政団体となる
2006	18年	2月 高島市全域が滋賀県経済振興特別区域「びわ湖・里山観光振興特別区域」の認定をうける 3月 朽木村井で土砂崩れ発生 4月 守口市と友好交流・災害応援協定が締結される 6月 日本再発見塾 I N 高島が開催される 10月 北陸本線・湖西線直流化開業
2007	19年	2月 若狭町と災害時の相互協力に関する協定が締結される 3月 高島市総合計画を策定 6月 インターネットテレビ「高島みてねっと！」開設 7月 藤樹書院跡に「中江藤樹墓所」が追加指定される 9月 メール配信サービス「リアルタイム高島」開始 9月 継体天皇即位1500年記念事業『高島歴史フォーラム「継体天皇と古代高島」』が開催される

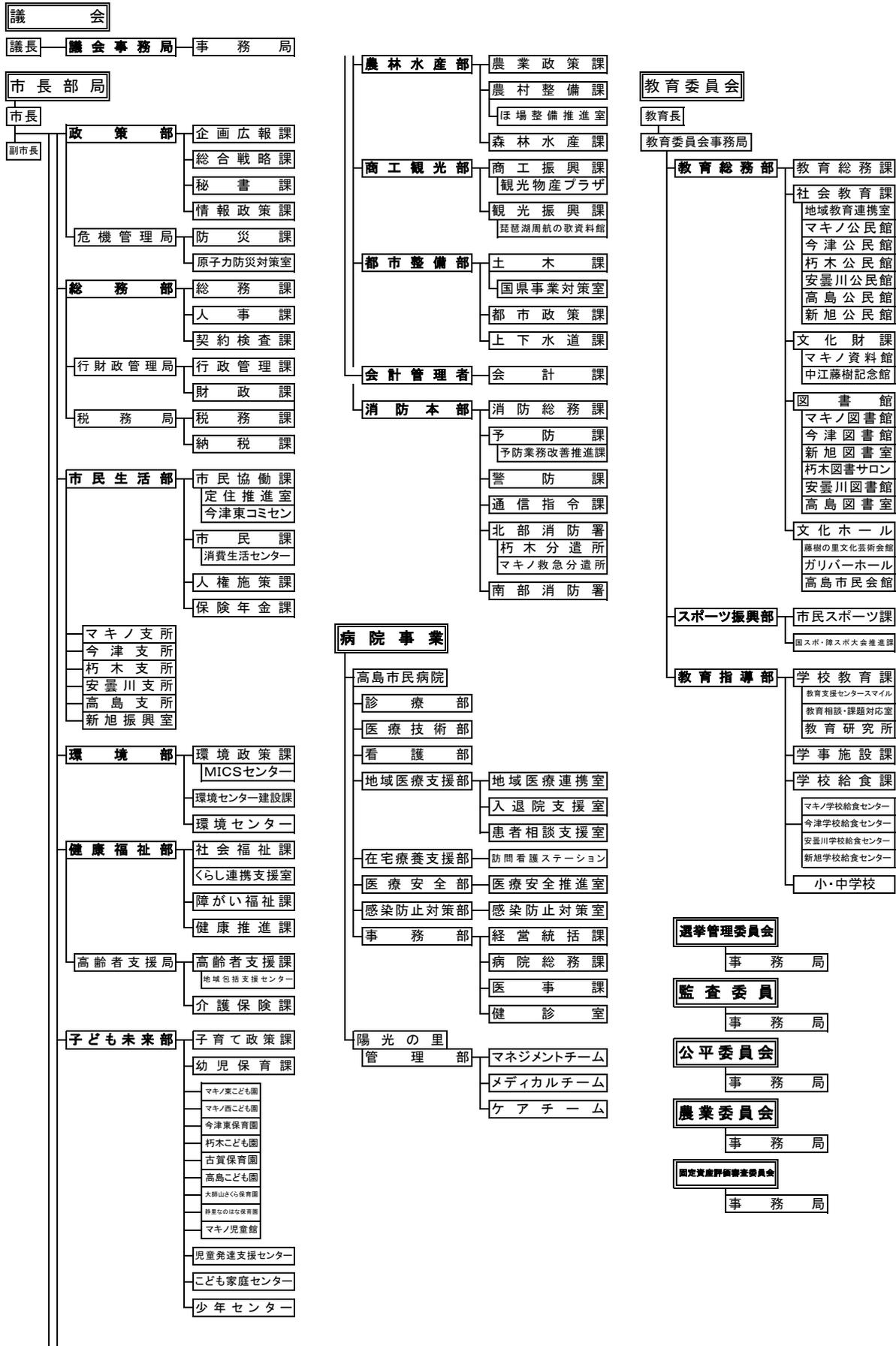
西 暦	和 暦	事 項
2007	平成 19年	10月 藤樹先生生誕400年祭マスコットキャラクター「よえもん君」が完成
		10月 全国トレイルサミット in 高島2007が開催される
		11月 高島市地域SNS「高島きてねっと！」開設
		11月 高島市が地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を受賞
2008	20年	3月 中江藤樹生誕400年祭が約7か月間にわたり開催される
		4月 くつき温泉「てんくう」の来場者が300万人突破
		4月 今津町椋川にECC学園高等学校が設立
		7月 携帯電話のサービスが受けられない3つの集落（在原区、椋川区、畑自治会）に衛星携帯電話を貸与し、運用協定を締結
		8月 福井県小浜市と災害時の相互応援に関する協定を締結
		11月 若狭町、小浜市と連携・協力して、「琵琶湖と若狭湾を結ぶシンポジウム」を開催
		12月 市民や市内で働く労働者の生活を守るため「高島市生活・雇用緊急対策会議」を設置
		12月 JR湖西線の防風柵が完成
2009	21年	3月 マキノ高原温泉「さらさ」の来場者が100万人突破
		3月 JR安曇川駅エレベーター設置
		4月 たかしま市民協働交流センターの開設
		4月 高島市都市農村交流施設「おっきん椋川交流館」竣工
		8月 高島市国際協会設立
		11月 (社)滋賀県ILP-ガス協会高島支部と災害時の応援復旧に関する協定を締結
		11月 平成24年春開院に向け、公立高島病院整備事業の関係工事着手
		2010
3月 農林水産省の「ため池百選」に「淡海湖」が選定		
3月 高島市医師会・高島市歯科医師会・高島市薬剤師会と災害時の医療救援活動に関する協定を締結		
4月 高島市立小中一貫教育校「高島学園」開校		
6月 社団法人滋賀県トラック協会湖西支部と災害時における物資等の輸送に関する協定を締結		
6月 高島市山岳遭難防止対策協議会設立		
8月 重要文化的景観に「高島市針江・霜降の水辺景観」が選定		
8月 第8回ラムサール条約登録湿地関係市町村長会議が開催		
10月 吹田市・高島市産業経済交流会が開催		
11月 高島市誕生5周年記念・高島市市民劇2010「琵琶湖治水の物語」を上演		
2011	23年	
		3月 「東北地方太平洋沖地震災害支援本部」を設置。様々な支援活動を展開
		4月 ごみ減量大作戦スタート
		4月 「高島市農業再生協議会」設立
		4月 市内の農業協同組合4団体と災害時の応急対策に関する協定を締結
		4月 「農産ブランド認証制度」の開始
		6月 「マキノ東小学校屋内運動場」の改築工事着手
		7月 市役所内に「原子力防災対策室」を新設
		7月 若者定住促進プロジェクト「空き家紹介システム」をスタート
9月 環境放射線の測定開始		
2012	24年	2月 大雪警戒本部設置、自衛隊派遣要請
		3月 マキノ東小学校屋内運動場竣工
		3月 JR近江高島駅エレベーター設置
		3月 滋賀県石油商業組合高島支部、高島市漁業振興連絡会、公益社団法人隊友会滋賀県隊友会高島支部と災害時の応急対策に関する協定等を締結
		3月 朽木西小学校平良分校閉校
		5月 高島市民病院開院
		6月 国土交通省近畿地方整備局と災害時等の応援に関する申し合わせを締結
2013	25年	3月 「遡々杵神社 渡しまつり」を高島市指定文化財に指定
		6月 マキノ町在原で火災発生、茅葺き古民家など計9棟が全半焼
		8月 上御殿遺跡から双環柄頭短剣の鋳型が出土
		9月 台風18号による豪雨により鴨川が決壊、全国初の特別警報が発令
		10月 饗庭野演習場で、国内で初めてのオスプレイを使用した日米共同訓練が実施
		12月 高島市市民劇2013「木槿の咲く頃 ～清水安三物語～」を上演
2014	26年	4月 高島市内小中一貫教育の本格実施
		4月 「高島市制10周年記念事業推進委員会」発足
		4月 高島市制10周年記念事業のキャッチフレーズ・ロゴマークが決定

西 暦	和 暦	事 項
2014	平成 26年	5月 朽木診療所完成
		6月 高島市環境センターのダイオキシン問題
		7月 JR湖西線開通40周年記念事業開催
		9月 生ごみ処理機・コンポスト購入の補助制度を拡充
		9月 マキノ北小学校・今津西小学校・広瀬小学校の統廃合が決定
		9月 「高島市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例案」の否決
		9月 滋賀県建築士会担当地区高島地区委員会と災害時における避難施設等の安全確認に関する協定を締結
		10月 「高島市観光物産プラザ」開設
		10月 日本郵便株式会社と高島市内郵便局および堅田郵便局との連携・協力に関する協定書締結
		10月 高島市市勢要覧「つながる、高島」発行
		11月 高島市のシンボル「花」「木」「鳥」を制定
		11月 「高島市豪雨災害の記録」発行
		2015
3月 「椋川日吉神社の懸仏群」に、椋川山神社の懸仏群97点を高島市指定有形文化財（工芸品）として追加指定		
3月 マキノ北小学校閉校		
3月 今津西小学校閉校		
3月 旧今津郵便局が国の有形文化財に登録		
4月 フェニックスセンターのばいじん受け入れ再開		
4月 「高島市庁舎整備に関する住民投票」が行われる		
4月 日本遺産として「びわ湖とその水辺景観～祈りと暮らしの水遺産」に白鬚神社や水と生活が調和した景観（海津・西浜・知内の水辺景観、針江・霜降の水辺景観、大溝の水辺景観）、シコブチ信仰（朽木小川の「思子淵神社」）が認定		
5月 世界同時開催のランニングイベントWings for Life World Runが日本で初めて開催		
7月 平成27年度厚生労働省事業委託 実践型地域雇用創造事業の始動		
7月 饗庭野演習場における重機関銃射撃訓練の跳弾事案発生		
7月 「思子淵神社本殿・思子淵神社蔵王権現社・思子淵神社熊野社」国の重要文化財（建造物）に指定		
8月 ふるさと納税「びわ湖高島えんむすび」リニューアル		
8月 実弾射撃訓練における陸上自衛隊饗庭野演習場の使用等に関する覚書の調印		
10月 ふるさと納税「びわ湖高島えんむすび」高島屋とコラボ企画開始		
10月 高島トレイル10周年記念「第10回 全国ロングトレイルフォーラム」をマキノ高原で開催		
10月 「森の道100選」に県内唯一「中央分水嶺高島トレイル」が認定		
10月 リゾートトラスト株式会社と会員制リゾートホテル事業の展開に関する協定を締結		
12月 高島市版 地方創生総合戦略「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定		
12月 大溝城遺跡 本丸石垣を新たに検出		
2016	平成 28年	1月 高浜発電所に係る「原子力安全協定」および「安全確保に関する確認書」を締結
		3月 市内大型ホームセンター3社と「災害時における物資供給に関する協定」を締結
		3月 特産品海外販売戦略事業により「高島ちぢみ」の海外（インドネシア）での販売開始
		3月 広瀬小学校閉校
		4月 共栄精密株式会社と「菌茸類菌床の生産事業およびその関連事業の推進に関する協定」の締結
		5月 平成28年熊本地震被災地 熊本県阿蘇郡南阿蘇村へ職員を派遣
		7月 高島市業務継続計画（震災編）を策定
		10月 フルタ製菓株式会社と包括連携協定を締結
		10月 「水と緑の西近江路 高島ロングライド100」第1回開催
		10月 大飯原発事故を想定した原子力防災実動訓練を行う
		10月 高島市アンテナショップ「かもす家」が京都三条でスタート
		12月 北陸新幹線の敦賀以西ルートが「小浜・京都ルート」に決定
		12月 びわこ成蹊スポーツ大学と連携協定を締結
		12月 第2次高島市総合計画を策定
		12月 ふるさと納税の寄付金が、過去最高額3億円に達する

西 暦	和 暦	事 項		
2017	平成 29年	4月 子ども未来部の設置(健康福祉部子ども局から格上げ)		
		6月 琵琶湖周航の歌誕生100周年記念式典を開催		
		7月 マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付開始		
		8月 今津支所移転		
		8月 本庁庁舎増改築工事開始		
		9月 高浜発電所に係る「原子力安全協定」を締結		
		10月 し尿・浄化槽汚泥処理施設の運用開始		
		11月 NHKのど自慢生放送(高島市民会館)		
		11月 インスタグラムによる「#タカシマノアサヒ」キャンペーン開催(11月～翌年1月)		
		11月 しんあさひ風車村跡地の利活用に向けて整備に関する協定を締結		
		12月 庁舎整備にかかる損害賠償請求事件の判決		
		12月 ネクストブレイク「インスタ映えする街」としてAERAで紹介される		
		2018	平成 30年	2月 道の駅藤樹の里あどがわで「#タカシマノアサヒ」写真展開催
3月 一般廃棄物の処理を県外民間事業者へ委託				
4月 高島市民病院に地域医療支援センターを設置				
5月 JR新旭駅のバリアフリー化工事開始				
7月 道の駅しんあさひ風車村リニューアルオープン				
9月 台風21号襲来				
9月 ソニーストア名古屋で「TAKASHIMA CITY PROMOTION」開催				
10月 市役所本庁舎新館が完成				
12月 ごみ処理施設建設候補地決定				
2019	平成 31年			1月 JRマキノ駅前広場にバリアフリー対応型トイレ完成
				3月 高島市自殺予防計画「高島いのちのサポートプラン」を策定
				4月 マキノピックランドで並木カフェ メタセコイアオープン
		4月 株式会社セブン-イレブン・ジャパンと「地域活性化包括連携協定」を締結		
		令和 元年	5月 市役所本庁舎がグランドオープン	
			6月 株式会社PLANTと「災害救助に必要な物資の調達および駐車場の一部使用に関する協定」を締結	
	7月 高島市景観計画変更			
	10月 市営バス各線の運行経路および時刻の改正			
	12月 ふるさと納税の寄付金が、過去最高額5億円に達する			
	2020		令和 2年	3月 「第2期高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
		3月 「第2期高島市財政改革計画」を策定		
		3月 今津東コミュニティセンターリニューアルオープン		
3月 高島市新ごみ処理施設建設予定地白紙撤回決定				
4月 NET119緊急通報システムの運用開始				
4月 高島市斎場の民間委託を開始				
4月 マキノピックランドの「レストラン」と「直売所」がリニューアルオープン				
5月 マイナンバーカード申請サポート窓口開設				
7月 高島市児童発達支援センター「エール」開所				
7月 「道路異常等通報システム」の運用開始				
7月 今津総合運動公園第4グラウンドオープン				
7月 新型コロナウイルス感染症禍での避難所運営訓練の実施				
8月 「防災重点ため池マップ」公表				
11月 子育て応援アプリ「はぐっとナビたかしま」の配信開始				
2021		令和 3年		2月 福井市長の3期目スタート(高島市政初の3期目市長)
				2月 第2期高島市教育大綱を策定
				3月 高島市「クアの道®」認定記念式典および記念ウォーキングを開催
				4月 「JR西日本×沿線自治体」共同プロジェクト「おためし地方暮らし」に参画
	4月 「たかしま応援プロジェクト第7弾」としてたかしま学生エール便プロジェクトを実施			
	5月 東京2020オリンピック聖火リレーがメタセコイア並木道で実施			
	6月 西日本旅客鉄道株式会社と「地方創生に関する連携協定」を締結			
	7月 「高島市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官の認定を受ける			
	9月 高島市LINE公式アカウントを開設			
	10月 「史跡指定100周年記念 藤樹書院跡」を開催			
	11月 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障がい者スポーツ大会高島市準備委員会設立総会を開催			
	11月 JR駅レンタカー「マキノ営業所」が開設			

西 暦	和 暦	事 項
2022	令和 4年	3月 鶴川の棚田、畑の棚田が「つなぐ棚田遺産」に認定
		3月 高島市防災ハザードマップの更新
		3月 第2次高島市男女共同参画プランの改訂
		3月 高島市空家等対策計画の改訂
		4月 高島市にブルーインパルス展示飛行の決定
		4月 JR近江高島駅でカーシェアリングの開始
		8月 自衛隊フェスタ50・70 in 滋賀高島の開催
		9月 関西電力送配電株式会社滋賀支社と「大規模災害時における道路啓開や電気設備等の復旧に係る相互連携・協力に関する協定書」を締結
		9月 TOYOTA GAZOO Racing PARK in ラリーチャレンジびわ湖 高島の開催
		10月 第27回全国棚田（千枚田）サミットの開催
		10月 学校法人上田安子服飾専門学校との地域活性化に関する連携協定を締結
		11月 バス無料DAYの実施
12月 新ごみ処理施設の建設予定地の決定		
2023	令和 5年	1月 高島市の人口(社会増減)が合併以来、初の転入超過
		3月 第2期高島市スポーツ推進計画の策定
		4月 高島市ホームページをリニューアル
		5月 「高島市制20周年記念事業推進委員会」発足
		6月 高島B&G海洋センター温水プールをリニューアル
		10月 光亜興産株式会社と地方創生に関する包括連携協定を締結
		10月 ガリバーホール30周年事業開催
		10月 災害対応無人航空機(ドローン)の運用開始
		11月 高島市制20周年記念事業のキャッチフレーズ・ロゴマークが決定
		2024
7月 湖西線開通50周年記念事業を開催		
8月 市制20周年記念事業 みんないこうよ! しあわせ つながる 元気プラスフェスタを開催		
9~ わたSHIGA輝く国スポ リハーサル大会を開催 (銃剣道、女子ソフトボール、高等学校軟式野球、ウエイトリフティング)		
11月 市制20周年記念事業 消防・防災フェスタを開催		
10月 高島市制施行20周年記念式典を開催		
10月 市民憲章制定		
10月 サンクチュアリコート琵琶湖開業		
11月 市制20周年記念事業 2024たかしま産業フェア&そばフェスタを開催		
11月 市制20周年記念年賀はがき販売		
12月 市制20周年記念事業 高島市市民劇2024を開催		

令和6年度 高島市行政機構図



高島の「百選」

	百 選 名	名 称	場 所	選定年月	選 定 機 関
1	日本の白砂青松100選	湖西の松林	今津町～マキノ町	昭和62年 1月	(社)日本の松の緑を守る会
2	日本さくら名所100選	海津大崎の桜	マキノ町	平成 2年 3月	(財)日本さくらの会
3	日本の滝100選	ハツ淵の滝	(旧高島町)鹿ヶ瀬	平成 2年 4月	日本の滝全国協議会(現・日本の森・滝・渚全国協議会)
4	新・日本街路樹100景	マキノ高原のメタセコイア	マキノ町	平成 6年11月	読売新聞社
5	水の郷百選	マキノ町全域	マキノ町	平成 7年 3月	国土交通省
6	日本の渚100選	萩の浜	(旧高島町)永田～勝野	平成 8年	日本の渚全国協議会(現・日本の森・滝・渚全国協議会)
7	日本の棚田百選	畑の棚田	(旧高島町)畑	平成11年 7月	日本の棚田百選選定委員会・農林水産省
8	花の百名山	赤坂山	マキノ町	平成14年 3月	(株)山と溪谷社による決定版「花の百名山」登山ガイド
9	未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選	琵琶湖の伝統的漁法～築(やな)～	安曇川町北船木	平成18年	水産庁
10	快水浴場百選	マキノサニービーチ	マキノ町	平成18年 5月	環境省
11	平成の名水百選	針江の生水	新旭町針江	平成20年 6月	環境省
12	日本の紅葉百選	生杉のブナ原生林	朽木生杉	不詳	不詳
13	ため池百選	淡海湖	今津町深清水	平成23年3月	農林水産省
14	池坊 花逍遥100選	高島市ザゼンソウ群生地	今津町弘川	平成28年1月	池坊
15	新日本歩く道紀行 森の道100選	中央分水嶺・高島トレイル	マキノ町愛発越～朽木桑原	平成28年4月	新日本歩く道紀行100選 選考委員会

※日本花の百名山の「赤坂山」については、(株)山と溪谷社による「決定版花の百名山登山ガイド」によるものであり、厳密には田中澄江 著の「花の百名山」とはいいがたいものがある。(山と溪谷社に確認済)



【資料 観光振興課】